

かぜをひいたちきゅう

■プログラムの概要

ねらい	熱が出て、調子の悪くなってしまった「ちきゅう」（かぜ＝地球温暖化）を治してあげるためにはどうしたらよいか、子どもたちとのやりとりを交えながら紙芝居で伝える。		
キーワード	地球温暖化		
対象	幼児～小学2年		
時間	45分	実施場所	室内
使用するもの	パソコン、プロジェクター、スクリーン（またはパワーポイント資料を印刷）、パワーポイント資料、地球儀（用意できれば）		
全体の流れ	<ol style="list-style-type: none">1. 導入2. 紙芝居 具合が悪くなってしまった地球のお話3. まとめ 具体的な行動を提示し、子どもたちに行動の提案をする。 <p>※具体的な行動については、園や学校での取り組みを合わせて確認する。</p>		

■進め方

時間	内容	指導上の留意点
10分	<p><導入></p> <p>地球ってどこだろう？</p> <p>私たちが住んでいるのは地球という星だということを伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化が難しい場合は節電や省エネなど、身近な話しに掘り下げる 地球の模型を使いながら北極を説明すると反応がいい
20分	<p><かぜをひいたちきゅう></p> <p>①地球が風邪をひいてしまった。 (体が熱くなり、調子が悪くなっている。子どもたち自身の風邪の体験を聞いても良い。)</p> <p>②地球の風邪を治すには、「やさしい心」が必要。</p> <p>③どんなことをしたら地球は元気になるか、絵を見ながら子どもたちに答えてもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 冷蔵庫のドアの開けっ放しは良いのかな？ お水の出しっぱなしは良いのかな？ 電気の点けっぱなしは良いのかな？ 食べ物は残して良いのかな？ <p>④園や学校での具体的な取り組み例を混ぜて話をする。 ごみの分別など。</p> <p>⑤緑のカーテンって知っているかな？ 緑のカーテンの植物の話、役割（空気をきれいにする、日陰をつくるなど。）の紹介。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 紙芝居（パワーポイント）を使用して話をする 地球が風邪をひいた（＝地球温暖化）と考えて説明をする。 「やさしい心」（＝地球を守る心。環境にやさしい考えなど。） できるだけ具体的な行動を含めた話をするにより、身近な行動が地球に影響を与えていることを知る。 ごみの場面では、実際に教室にあるごみ箱を使用して話をするとよい。
5分	<p><まとめ></p> <p>みんなが園や学校で行っている取り組みをこれからも続けて、地球を元気にする行動（＝地球温暖化を防ぐ行動）をしていって欲しいことを伝える。</p>	

■使用するもの

物品名	数 量	備 考
パソコン、プロジェクター、 スクリーン	各1台	用意が困難な場合はパワーポイント資料を印刷し、紙芝居する。
地球儀	1台	用意できれば導入で使用する。

■実施にあたって留意する点

- ・「地球温暖化」という概念は難しいので、地球が熱をだして具合が悪くなっている（＝風邪をひいている）という状況をお話する。
- ・地球が風邪をひいてしまったのは、そこに住んでいる私たちが、無駄遣いをしたり、食べ物を残したり、ごみをたくさん捨てたりしているということ知ってもらえるように指導する。